



【退職医師】

令和7年2月28日付退職								
小児科	専攻医	洲脇 嵩大	循環器内科	医師	西村 侑太	内科	専攻医	多木 沙織
			小児科	医師	金谷 真吾	内科	専攻医	永澤 佳奈
			小児科	医師	田中 めぐみ	内科	専攻医	代谷 元
令和7年3月31日付退職			小児外科	医師	渡部 彩	内科	専攻医	呉 昊霖
内科	第一総合内科部長 兼教育研修推進室長	森井 和彦	形成外科	医師	作道 善行	内科	専攻医	田中 愛也
			形成外科	医師	大森 凜	小児科	専攻医	円満堂 日奈子
整形外科	第一整形外科部長	阪上 彰彦	皮膚科	医師	芦田 日美野	小児科	専攻医	清水 聖二郎
泌尿器科	泌尿器科部長	原口 貴裕	泌尿器科	医師	福永 博之	小児科	専攻医	宋 智勲
	兼低侵襲副センター長		泌尿器科	医師	前田 隼太	小児科	専攻医	中原 莊太
内科	腎臓・膠原病内科副部長	垣尾 勇樹	リハビリテーション科	医師	河本 昌雄	小児科	専攻医	藤田 智之進
産婦人科	医長	西條 昌之	リハビリテーション科	医師	細澤 幸輝	外科	専攻医	石川 偉一郎
歯科口腔外科	医長	福村 元洋	放射線科	医師	岡安 和寛	外科	専攻医	二神 花菜
内科	医師	村上 詩歩	内科	専攻医	白井 吉紀	乳腺外科	専攻医	真田 知佳
内科	医師	山本 淳史	内科	専攻医	長原 隆寛	リハビリテーション科	専攻医	本城 文哉
循環器内科	医師	高原 津	内科	専攻医	西坂 直人	麻酔科	専攻医	新居 菜月

患者さんのご紹介はぜひ**FAX紹介**をご利用ください

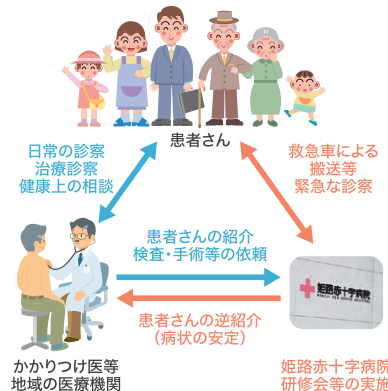
当院では、地域の先生方と緊密な連携と役割分担を図りつつ、より良い医療を提供していくことで、地域医療の充実を目指しています。

紹介状をお持ちでない患者さんが当院を受診された際は、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いしていますので先生方のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでも直接来院された場合、来院された日に受診出来なかったり、待ち時間が長くなったりとご迷惑をおかけすることがありますので、是非FAX紹介をご利用くださいますようお願い申し上げます。

【患者さんにとってのメリットは？】

- 症状に応じた専門医の診察を受けることができます
- 受診日時が決定するので、スケジュール調整ができます
- 初診申込書の記載が必要ないので手続きがスムーズにできます
- 初診時選定療養費 医科7,700円(税込)、歯科5,500円(税込)が徴収されません
- 外来での待ち時間が最小限となります



FAX紹介受付時間 平日 8時30分～19時まで 土曜日 8時30分～12時まで

診 察 日 原則 1週間以内 *但し、検査・診療科・診療内容により及び希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先 地域医療連携課
TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)

がん相談支援センター

当院では、がんでお悩みの患者さんやご家族の方が安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しております。当院の患者さんやご家族はもちろん、地域の方、当院かかりつけでない方もご利用いただけます。

相 談 予 約 あらかじめ電話でのご予約をお願いいたします

病院代表：079-294-2251

直 通：079-299-0037

受 付 時 間 平日 8:30～17:00 **相 談 時 間** 1回60分程度

また、当院2Fエントランスホールの相談支援センターブースでも相談・予約を承っております。



姫路赤十字病院だより

Japanese Red Cross Society Himeji Hospital NEWSLETTER

Vol. 48

April
2025.4

contents

統計からみた当院のがん診療について

診療科の紹介 産婦人科

Cooperation Message 地域医療連携室

2025年1月より救急患者連携搬送（下り搬送）を本格開始

看護部研修予定一覧

採用・退職

FAX 紹介のご案内

がん相談支援センターのご案内





統計からみた当院のがん診療について

当院は、厚生労働省より指定された地域がん診療連携拠点病院として、国のがん対策基本法、がん対策推進基本計画、兵庫県のがん対策推進計画等に基づき、播磨姫路圏域におけるがん医療の質の向上を推進し、がん診療を牽引する役割を担っております。

その役割を果たすため、厚生労働省の定めた「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」に従って診療体制を整え、専門的な知識及び技能を有する医師や医師以外の診療従事者を配置、緩和ケアの提供、地域の医療機関と連携体制を構築いたしました。

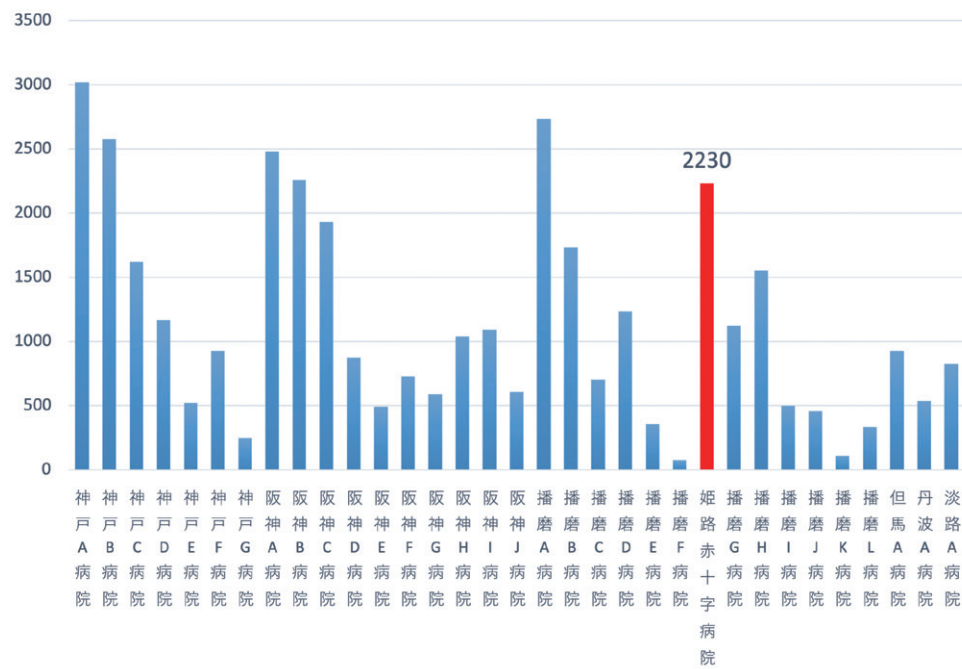
がん診療の診療実績を示す指標の1つとして、院内

がん登録があります。「がん登録等の推進に関する法律」第44条第1項に基づき定められた「院内がん登録の実施に係る指針」に則して、国立がん研究センターが実施する研修で実務者と認定された者が、院内がん登録を実施します。

院内がん登録データは、院内すべてのがんの診断、治療など、一括して把握し、見直すことができます。また、他院とのデータと比較することにより、当院の特徴を理解し、よりよいがん診療に役立てることができます。

今回、このデータを活用し、当院の特徴をお示しいたします。

兵庫県施設別 初回治療開始症例数(2023年)



兵庫県内の病院で、国立がん研究センターの「院内がん登録全国集計」にデータ提出された施設の統計です。初回治療開始症例数とは、2023年1月～12月の間に「がん」と診断され、初回治療方針が決定、実施された症例数です。多重がんの場合、原発部位毎に1腫瘍1登録となります。当院は、2023年症例の院内がん登録総数(診断のみ、再発で他院より紹介を含む)が2,490件、初回治療開始症例数は、2,230件でした。

詳しくは、国立がん研究センター がん情報サービスのホームページをご覧ください。

次に、当院の初回治療開始症例で、多く症例数のある部位(原発部位)を示します。

国指定と呼ばれる、厚生労働省より指定された地域がん診療連携拠点病院と、播磨姫路医療圏の病院を抽出しました。

2023年症例は、大腸366件、肝臓106件、膵臓94件、乳房251件、子宮体部58件、卵巣・卵管35件、悪性リンパ腫125件、白血病54件でした。肝臓は、当初より、内科、外科ともに診療実績が多くあります。膵臓は、播磨姫路圏域で多く、がんゲノム医療や膵がん検診も実



施しています。子宮体部や卵巣・卵管などの婦人科系がんは、明石より西部では、ほぼ当院が初回治療を担っている状況です。悪性リンパ腫や白血病などの造血器腫瘍は、兵庫県のみならず全国で30位と治療実績が高く、あらゆる造血幹細胞移植(日本骨髄バンクや兵庫さ

い帯血バンクからの提供を含む)を実施しています。現在、CAR-T細胞療法開始に向けて準備をしています。

がん診療連携課 院内がん登録実務中級認定者

安東 正子

兵庫県施設別 初回治療開始症例数(2023年)
国指定の地域がん診療拠点病院と播磨姫路医療圏の病院



01

産婦人科

スタッフ紹介

水谷 靖司 副院長(兼)第一産婦人科部長
(兼)周産期母子医療センター長
(昭和61年卒/周産期医療(産科)・婦人科腫瘍)

関 典子 第二産婦人科部長
(平成3年卒/産婦人科一般・漢方治療)

中山 朋子 第三産婦人科部長
(平成15年卒/産婦人科一般)

河合 清日 第一産婦人科副部長
(平成19年卒/産婦人科一般)

久保 光太郎 第二産婦人科副部長
(平成21年卒/婦人科低侵襲手術(腹腔鏡、ロボット、生殖内分泌))

玉田 祥子 第二産婦人科副部長
(兼)周産期母子医療副センター長
(平成22年卒/周産期医療・腹腔鏡手術・産婦人科一般)

楠元 理恵 産婦人科医長
(平成26年卒/産婦人科一般)

平田 智子 産婦人科医長
(平成26年卒/産婦人科一般)

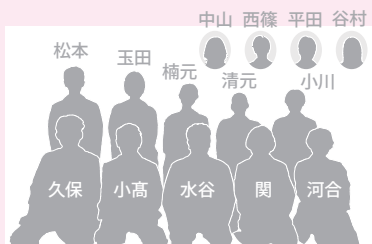
小高 晃嗣 医師
(昭和58年卒/周産期医療(産科)・婦人科腫瘍)

西條 昌之 医師
(平成23年卒/産婦人科一般)

谷村 吏香 医師
(平成27年卒/産婦人科一般)

小川 麻理子 医師
(平成31年卒/産婦人科一般)

清元 志保 専攻医
(平成31年卒/産婦人科一般)



診療方針と診療内容

産婦人科は「患者さんを中心とした多職種協働・地域医療施設連携による安心で安全な心の通う医療の実践」を診療科の方針としています。

当科の医師は令和7年3月現在、常勤医12名(専門医11名、専攻医1名)と非常勤医5名(大学関連からの応援4名、地域医療機関からの応援1名)で、産科医療、婦人科腫瘍、女性ヘルス、基礎的な不妊治療の診療にあたっています。また、総合周産期母子医療センターとして専任医師を配置し、24時間365日母体救急搬送、産後多量出血等に対応しています。

上記の方針を実施するため、特に下記の項目を実践しています。

- 1)術前カンファレンスを実施し、術前検査、手術適応、術式、術後注意すべき点などの確認をしています。さらに他科との共同手術時には、合同カンファレンスを適時行っています。
- 2)婦人科悪性腫瘍では、婦人科腫瘍専門医(現在3名在籍うち1名指導医)が中心となり治療方針を決めています。病理医・放射線画像診断医とのカンファレンスも定期的に行い、診療の質を高めています。
- 3)産科においては、小児科・小児外科医師ならびに周産期センターの助産師・看護師と定期的にカンファレンスを実施し、出産した児の状況、ハイリスク妊婦の情報共有や娩出のタイミング等の相談を行っています。
- 4)術後合併症を起こした症例、超緊急帝王切開となった症例などに対して各職種や関連各科・部署のスタッフ間で振り返りを行い、今後の対応に活かしています。
- 5)地域全体の医療の質を向上するため、各種講習会(新生児蘇生:NCPR、母体救急システム:J-CIMELS、周産期研修センター研修会など)を開催しています。
- 6)緊急時に備えるため、各種シミュレーション(超緊急帝王切開、産科危機的出血など)を科内もしくは病院全体で定期的実施しています。



J-CIMELS 講習会風景



地域の医療機関の先生方へ

①完全予約制について

日頃から多くの患者さんや妊婦さんをご紹介頂き、大変感謝しております。診察待ち時間の緩和のため、当科は完全予約制を実施しております。ご紹介は地域連携課を通した事前のFAX予約をご利用下さい。緊急の紹介についてはお手数ですが、電話でご連絡下さると幸いです。未予約で紹介状持参の場合は、緊急性を判断して当日診察あるいは別日の予約診察とするかを判断させていただきます。

②手術待ちについて

悪性腫瘍を優先に手術を行っております。良性腫瘍の場合は、現在3~4月の待機となっておりますが、患者さんの状況をみて適宜手術時期を判断しております。

③婦人科救急について

周産期母子医療センターの役目を遂行するため、医師1名は必ず母体胎児集中治療室の専任医師となっております。夜間の婦人科救急(特に手術が必要な例)は、原則受け入れる余裕がございませんので、ご了解ください。昼間については、マンパワーや手術室の状況(麻酔科医の確保ができるかも含め)をみて、受け入れを判断しています。

④ローリスク妊婦のご紹介

周産期センターであるがゆえに、当科はハイリスク妊婦しか紹介してはいけないと思っておられる地域の先生方がおられるようですが、ローリスク妊婦も積極的に受け入れておりますのでご紹介下されば幸いです。

当科の7つの強み

①低侵襲手術の積極的導入

日本産婦人科内視鏡学会技術認定医(4名在籍)、ダ・ヴィンチ術者資格者(3名在籍)が中心となり、良性腫瘍(卵巣腫瘍手術、子宮摘出など)や早期子宮体癌に対する内視鏡手術・ロボット支援下手術の低侵襲手術を積極的に導入しています。また、子宮頸がんに対するロボット支援広汎子宮全摘術の導入を目指して鋭意準備中です。

②ハイブリッド手術室利用の帝王切開

前置癒着胎盤で大量出血が予測される場合、ハイブリッド手術室(通常の手術と血管X線透視を同時に行うことのできる特別な手術室で、主に心臓血管外科が利用している)で、帝王切開前に動脈にバルーンカテーテルを留置し、動脈血流を一時的に遮断し出血量を減少させます。

③他家血輸血の回避

他家血輸血の回避のため、貯血式、術中回収式、希釈式の自己血輸血を積極的に実施しています。

④無痛(和痛)分娩

麻酔科医師のもとで実施しています。無痛分娩の方法は持続硬膜外麻酔(場合により腰椎くも膜下麻酔)です。適応は希望者もしくは医学的適応のどちらにも対応しています。またオンデマンド(夜間や休日などで麻酔科医対応できないことあり)か計画無痛分娩とするかは事前に妊婦さんと相談し決めています。自院で無痛分娩をされていない施設からの紹介も受けています。

⑤産科セミオープンシステム

分娩の取り扱いを中止された施設の先生と協力して、妊婦健診は協力施設で実施、節目の健診や超音波エコスクリーニング・妊娠中の各種検査ならびに出産は当院で行うシステムです。緊急の診察が必要時、夜間や休日で協力施設が対応できないときは当院で対応します。現在、西播磨・姫路地域で、5施設が協力施設として登録しています。ご質問・ご希望があれば地域連携課までご連絡ください。

⑥助産師外来・院内助産

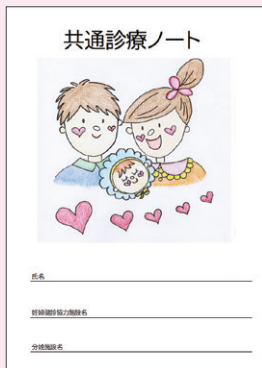
ローリスク妊婦に対し、助産師が主体で妊婦健診からお産の介助、そして産後診察や育児相談まで行うシステムです。異常がみられた場合はすみやかに医師が介入し、安全・安心なお産を心がけています。

⑦最新の悪性腫瘍薬物療法の早期導入

婦人科腫瘍専門医が中心となり、導入前に十分な勉強会を開きいち早く最新の悪性腫瘍薬物療法導入を行っています。



ハイブリッド手術室



セミオープン共通診療ノート



Cooperation Message

地域医療連携室

第60回地域連携カンファレンス報告

2025年2月6日に地域連携カンファレンス『姫路赤十字病院 消化器センター 消化器癌最新のトピックス』を開催いたしました。

第一部は消化器副センター長の堀 伸一郎による「遺伝性消化管腫瘍について」、第二部は消化器センター長の松本 祐介による「胃癌・大腸癌～化学療法から手術まで～」と題し、連携医療機関、職員約100名が参加し、盛会に開催することができました。

消化器センターは、2022年1月に開設し4年目となりました。入院、外来ともに内科・外科の垣根を超えたシームレスな対応によって患者さん、地域の先生方、当院の三方よしを目指します。

カンファレンスでは、堀副センター長から、日常臨床で出会う遺伝性消化管腫瘍についてお話させていただきました。近年は、多遺伝子パネル検査が普及したことにより、生殖細胞系列の病的バリエーション

が発見される機会が増加し、サーベイランスを行うことにより、早期発見・治療につながり予後を改善できる可能性が広がります。当院では、診療科と遺伝子診療科が緊密な連携をとり、カウンセリング、遺伝学的診断、サーベイランスが可能な態勢を構築していることをお伝えしました。

また、松本センター長からは、当院の胃癌実績、手術のエビデンスと実際、最新の化学療法、大腸癌当院の実績、手術のエビデンスと実際、リキッドバイオプシー（ctDNAで術後補助化学療法の可否など）についてお話しさせていただきました。参加者からは「症例数、成績も良かった。病院挙げての態勢が整っていることがよく分かった。」といったうれしい感想をいただきました。

当院の得意とする消化器疾患では、これからも、最新、最善の医療を地域の皆様にお届けできるよう精進してまいります。そして、今後も研修会等で情報を発信してまいりますので、是非、カンファレンスに参加いただき、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。



遺伝性腫瘍とは

- ・がんは一般に、環境的要因（喫煙、感染、食事、生活習慣など）と遺伝的要因（遺伝的な体質）、加齢などが複合的に影響し合って発症する。
- ・遺伝性腫瘍は若年性、異時性、同時性、多発性のがんを発症し、血縁者にも同じ種類のがんを発症している人が多いなどの特徴がある。
- ・がんの原因の約5-10%が、遺伝的要因が関わる遺伝性のがん、すなわち「遺伝性腫瘍（症候群）」といわれている。

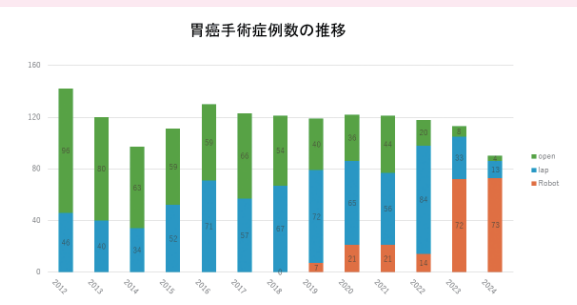
国立がん研究センター がん情報サービス <https://ganjoho.jp/public/index.html>
一般社団法人遺伝性腫瘍学会 <https://jsht-info.jp/> を参考に作成

主な遺伝性消化管腫瘍

- ・リンチ症候群
- ・家族性大腸腺腫症
- ・Peutz-Jeghers症候群
- ・Gastric adenocarcinoma and proximal polyposis (GAPPS)
- ・遺伝性びまん性胃癌など

大腸癌や胃癌を発症するが、疾患により特徴は異なる。

国立がん研究センター がん情報サービス <https://ganjoho.jp/public/index.html>
一般社団法人遺伝性腫瘍学会 <https://jsht-info.jp/> を参考に作成



すみやかで安心できる転院を

2025年1月より救急患者連携搬送(下り搬送)を本格開始しています

姫路赤十字病院は、播磨姫路圏域の基幹病院として高度急性期医療を担っていく使命があります。

令和6年度の診療報酬改定を受け、急性期治療を終えた患者さんが適切なタイミングで回復期や慢性期病院へ転院することが推進されています。これに伴い、当院でも病床の効率的な運用を図り、患者さんが地域の医療機関へ円滑に移行できるよう努めています。

昨年11月から検討を重ね、今年の1月から本格的に『救急患者連携搬送』を開始しました。救急外来での診察時に消化管出血や尿路感染、誤嚥性肺炎等の急性期疾患を中心に、適切な急性期治療を行った後、すみやかな転院に取り組んでいます。

搬送には災害時用に配備している救急自動車を活用し、事務職員が順番に搬送担当し、平時から経験を積

み災害時に備えています。

速やかな転院にむけて、当院の地域医療連携室が中心となり、患者さんの病状や治療経過、今後の生活について連携医療機関と十分な情報を共有しています。そして、患者さんやご家族には転院目的や治療方針について十分な説明と同意を得、安心して転院できるように心がけています。

今後も、地域の皆さまから『選ばれる病院』を目指し、地域連携医療機関の皆様と強固に連携しながら、急性期から回復期、維持期に至るまで、切れ目のない医療の提供に努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

看護副部長（兼）救急病棟師長 小林 寿代





研修開催情報

令和7年度 姫路赤十字病院 看護部研修開催予定一覧

▶レベルⅠ研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
4/11 8:30～10:20	基礎看護技術「感染予防」	感染予防対策の基礎知識	感染管理認定看護師	レベルⅠ
4/11 10:30～11:15	医療者としてのマナーとコミュニケーション	医療者としてのマナーとコミュニケーション 看護師としてのマナー コミュニケーションスキル	看護係長	レベルⅠ
4/11 11:15～12:00	社会人基礎力	看護職としての社会人基礎力	看護係長	レベルⅠ
4/11 12:50～13:50	採血・静脈注射	採血、静脈注射の基礎知識	がん化学療法認定看護師	レベルⅠ
4/18 10:40～12:10	与薬①「麻薬の取り扱いと管理」	麻薬に対する基本的な知識を身につける 安全に麻薬の取り扱いができる	緩和ケア認定看護師	レベルⅠ
4/18 14:10～15:40	基礎看護技術「褥瘡管理」	褥瘡管理	皮膚・排泄ケア認定看護師	レベルⅠ
4/25 8:30～10:30	基礎看護技術「医療安全①」	医療安全	医療安全管理者	レベルⅠ
5/16 13:30～14:30	基礎看護技術「輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い」	輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い	がん化学療法看護認定看護師	レベルⅠ
7/25 13:30～14:30	フィジカルアセスメント：バイタルサイン	フィジカルアセスメントの基礎知識 バイタルサインの測定方法、アセスメント 事例検討	集中ケア認定看護師	レベルⅠ
8/15 13:30～14:30	マインドケア	ストレスマネジメント ストレス自己評価 ストレス対処法	公認心理師	レベルⅠ
9/18 13:30～14:30	看護専門職としてのリフレクション	リフレクション	看護師長	レベルⅠ
10/17 13:30～14:30	排泄のアセスメント	排泄に関するフィジカルアセスメント	皮膚・排泄ケア認定看護師	レベルⅠ
11/6 13:30～14:30	医療安全②	医療安全について 事例検討	看護係長	レベルⅠ

※12月以降も開催予定

▶レベルⅡ研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
6/3 13:30～14:30	看護倫理Ⅱ	ジョンセンの4分割法 症例検討シート グループワーク	緩和ケア認定看護師	レベルⅡ
7/17 13:30～14:30	急変症状のアセスメント	急変時のアセスメント 事例検討	集中ケア認定看護師	レベルⅡ
11/14 13:30～14:30	看護と受容的態度	聴くスキル 受容的態度 コミュニケーションスキル	緩和ケア認定看護師	レベルⅡ

※1月以降も開催予定

▶レベルⅢ研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
5/23 13:30～14:30	リーダーシップ研修	リーダーシップとは 職場の状況分析と課題解決過程	看護師長	レベルⅢ
6/20 13:30～14:30	研修企画	研修企画、運営、評価のプロセス	看護係長（認定看護師）	レベルⅢ
7/8 13:30～14:30	コーチング	コーチングスキル	看護係長	レベルⅢ
9/19 13:30～14:30	実習指導	臨地実習とは 学びを促進する指導方法	教育担当師長	レベルⅢ
10/10 13:30～14:30	看護倫理Ⅲ	医療倫理の原則 倫理的問題分析	がん看護専門看護師	レベルⅢ

※12月以降も開催予定

▶看護補助者研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
6/27 13:30～14:30	感染予防	標準予防策	感染管理認定看護師	看護補助者
10/3 13:30～14:30	医療安全	移動に関する注意点・方法 安全な移動援助	看護係長	看護補助者

※12月以降も開催予定



▶専門・認定看護師研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
10月頃	敗血症性ショックとその看護	1) ショックの病態と分類 2) ショック時に使用する薬剤 3) 敗血症性ショックとは 4) 敗血症性ショックに対する治療戦略 5) 敗血症性ショックではないかと判断する 6) 敗血症性ショックに対する看護実践 （初期対応から治癒に向けた看護実践まで）	集中ケア認定看護師	キャリア開発ラダーレベルⅠ 取得以上
9～12月	がん看護研修Step1	9/30「緩和ケア概論」 「当院の緩和ケア提供体制について」 10/28「トータルペイン（全人的苦痛）について」 「がん性疼痛のマネジメント」 11/25「医療用麻薬の取り扱いについて」 「疼痛コントロールの薬剤について」 12/23「がん薬物療法とは～基本的知識と看護のポイント～」	がん看護専門看護師、 緩和ケア認定看護師	キャリア開発ラダーレベルⅠ
11月～1月	アセスメント力を身につける	症状から状態をアセスメント 臨床と照らし合わせた内容 「もしものとき」の対応を考える	集中ケア認定看護師	キャリア開発ラダーレベルⅡ～Ⅲを 目指すもの
6～3月	がん看護研修Step3	6/24「がん医療における看護の役割」 「医療者のストレスマネジメント」 7/22「がん薬物療法に使用する薬剤」 8/5「がん薬物療法の副作用のマネジメント」 9/9「オンコロジーエマージェンシー」 10/31「がん患者の自殺」 11/18「がん医療における家族看護」 12/16「がん患者とのコミュニケーション」 1/21「がんゲノム医療と遺伝性腫瘍」 2/10「事例検討①」 3/10「事例検討②」	がん看護専門看護師、 緩和ケア認定看護師	キャリア開発ラダーレベルⅡ以上
5～3月	新生児集中ケア	5/16「新生児の感染対策」 7/18「新生児の薬剤管理・輸液事故防止」 9/19「NCPRアルゴリズム」 11/21「DPAPの看護」 1/16「新生児搬送の看護」 3/13「超低出生体重児の看護」	新生児集中ケア認定看護師	NCPRを取得済みの小児・周産 期に関わる看護師・助産師
6～7月	ストーマケア	6/4「ストーマケアにつよくなろう①」 7/2「ストーマケアにつよくなろう②」	皮膚排泄ケア認定看護師	どなたでも
8～11月	褥瘡ケア	8/6「褥瘡のみかた」 9/3「褥瘡予防」 10/1「褥瘡の治療」	皮膚排泄ケア認定看護師	どなたでも
12/3	フットケア	①爪の構造 ②ニッパーの使い方	皮膚排泄ケア認定看護師	どなたでも
7/16	手術看護	術後疼痛管理とPONV対応	手術看護認定看護師	



研修に参加希望の方は、QRコードかURLより

参加申込フォームに必要事項を入力しお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/DaRiftT26r>

研修予定日の2週間前までにお申し込みください。

（直前のお申し込みは、電話でご確認ください）



〒670-8540 姫路市下手野 1-12-1 姫路赤十字病院 看護部

TEL：079-294-2251（内線：3001, 3417）

※お問い合わせは月～金の8：30～17：00までをお願いします。





採用・退職

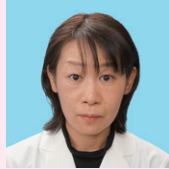
採用医師・退職医師のご案内

【採用医師】

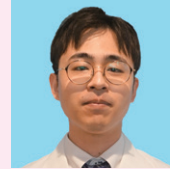
令和7年1月1日付採用



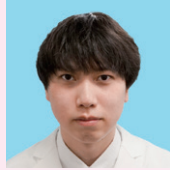
内科
医師
香川 大樹
(かがわ だいき)



麻酔科
麻酔科医長
門馬 和枝
(もんま かずえ)



内科
専攻医
青江 晃太郎
(あおえ こうたろう)



内科
専攻医
堀本 恭平
(ほりもと きょうへい)



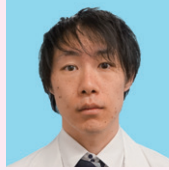
小児外科
小児外科医長
植村 光太郎
(うえむら こうたろう)



内科
専攻医
磯金 優樹
(いそかね ゆうき)



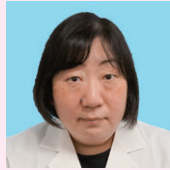
内科
腎臓・膠原病内科副部長
田中 景子
(たなか けいこ)



泌尿器科
医師
楠瀬 正史
(くすのせ まさふみ)



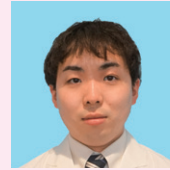
内科
専攻医
林 愛理
(はやし えり)



小児科
新生児科副部長
佐藤 有美
(さとう ゆみ)



眼科
医師
石川 千尋
(いしかわ ちひろ)



内科
専攻医
松田 一樹
(まつだ かずき)



歯科口腔外科
歯科口腔外科副部長
釜本 宗史
(かまもと むねふみ)



リハビリテーション科
医師
北川 綾美
(きたがわ あやみ)



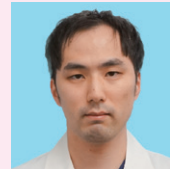
内科
専攻医
水野 綱紀
(みずの こうき)



小児科
小児科医長
松本 真明
(まつもと まさあき)



形成外科
医師
小山 絵里圭
(こやま えりか)



内科
専攻医
土居 優希
(どい ゆうき)



泌尿器科
泌尿器科医長
佐野 貴紀
(さの たかのり)



内科
専攻医
青江 佳歩
(あおえ かほ)



内科
専攻医
太田 直希
(おおた なおき)



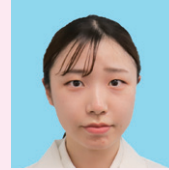
内科
専攻医
太田 葉名
(おおた はな)



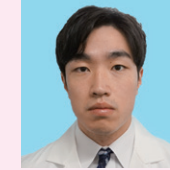
小児科
専攻医
青山 菜々子
(あおやま ななこ)



外科
専攻医
都倉 伊吹
(とくら いぶき)



内科
専攻医
大元 香奈
(おおもと かな)



小児科
専攻医
浅見 日向
(あさみ ひゅうが)



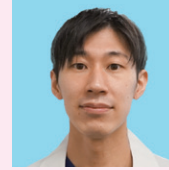
整形外科
専攻医
清谷 都登
(きよたに みやと)



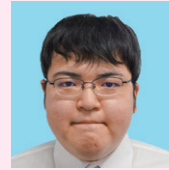
内科
専攻医
川月 章弘
(かわつき あきひろ)



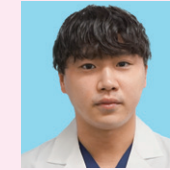
小児科
専攻医
岩本 匡洋
(いわもと まさひろ)



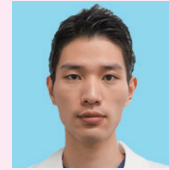
リハビリテーション科
専攻医
小林 亮太
(こばやし りょうた)



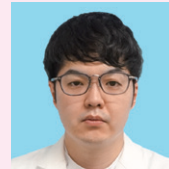
内科
専攻医
衣笠 凌平
(きぬがさ りょうへい)



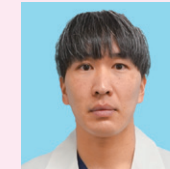
小児科
専攻医
上田 恭資
(うえだ きょうすけ)



リハビリテーション科
専攻医
平野 詩也
(ひらの うた)



内科
専攻医
國部 直史
(くにべ なおひと)



小児科
専攻医
高月 駿
(たかつき しゅん)



形成外科
専攻医
山口 真優奈
(やまぐち まゆな)



内科
専攻医
西岡 瑛
(にしおか あきら)



小児科
専攻医
武内 恵太
(たけうち けいた)



呼吸器外科
専攻医
檜尾 享佑
(ひのきお きょうすけ)



内科
専攻医
松岡 雅人
(まつおか まさと)



小児科
専攻医
徳田 真歩
(とくだ まほ)



乳腺外科
専攻医
石塚 真之佑
(いしづか しんのすけ)